

## I. 令和4年度事業報告

### 1. 学術集会、講演会等の開催（定款第4条第1号）

#### (1) 年会の開催

第95回 日本薬理学会年会『The Pharmacology as Innovation Commons: Creation and Inheritance of its KnowLedge -イノベーション・コモンズとしての薬理学‘その知の創成と継承’』

2022年3月7日(月)～9日(水), 福岡国際会議場・福岡サンパレス(福岡市博多区)とオンラインの併用で開催

年 会 長: 宮田 篤郎(鹿児島大学・院医歯)

副年会長: 笹栗 俊之(九州大学・院医)

登録者数: 計1,582名, 演題数: 739演題

(学術評議員 531名, 一般会員 291名, 大学院生 196名, 学部学生 147名, 非会員 116名, シンポジスト 68名, 名誉会員 118名, 永年会員 115名)

会長講演 1演題, Plenary Lecture 1演題, 特別講演 11演題, 教育講演 3演題, JPS-ASCEPT Lecture 1演題,

受賞講演 4演題(江橋節郎賞 1演題, 学術奨励賞 3演題), シンポジウム等 43企画 164演題(年会企画, 企業企画, 次世代の会企画, 共催企画, 日本学術会議後援等), 一般演題 543(口演・ポスター), Late breaking 11

特別企画: 創薬シーズ特設シンポジウム

社交的行事: 吉岡充弘先生追悼セレモニー, 年会優秀発表賞授賞式及び情報交換会

アゴラ「学際領域から期待される薬理学のこれから」

第96回 日本薬理学会年会『つなげよう、つながろう - Let's be connected and united -』

2022年11月30日(水)～12月3日(土), パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)開催

年 会 長: 安西 尚彦(千葉大学・院医)

登録者数: 計1360名, 演題数: 790演題

(会員 760名, 関連学会会員 54名, 大学院生 158名, 学部学生 74名, 非会員 314名)

基調講演 1演題, 特別講演 8演題, 年会長特別企画講演 1演題, 教育講演 2演題, JPS-ASCEPT Lecture 1演題,

共催/共同主催シンポジウム 18企画 106演題, 共催/共同主催ワークショップ 3企画 9演題, 次世代の会企画シンポジウム 1企画 3演題, 教育企画シンポジウム 1企画 4演題, 企業企画シンポジウム 3企画 10演題, シンポジウム 20企画 77演題, ワークショップ 13企画 40演題, 若手研究者キャリア形成セミナー 2企画 2演題, ダイバーシティ推進セミナー 1企画 2演題, スポンサーシンポジウム 3企画 6演題, みなとみらいサタデーランチタイムハーフアワーセミナー 2企画 2演題, PYJ2022企画年会アワードセッション 1企画 6演題, 一般演題(口演・ポスター) 545演題

#### (2) 地方部会

第146回日本薬理学会関東部会

部会長: 戸村 裕一(アステラス製薬)

2022年6月18日 オンライン開催

参加者 286名(近畿部会参加者を加え約400名), 特別講演 2, 特別シンポジウム 1, 一般演題(口演 36題, ポスター 22題)

第141回日本薬理学会近畿部会

部会長: 西山 成(香川大学・医)

2022年7月1日 オンライン開催

参加者 439名(関東部会参加者を含む), 一般演題(口演 49題)

第73回日本薬理学会北部会

部会長: 佐藤 久美(北海道科学大学・薬)

2022年9月18日 北海道科学大学(ハイブリッド開催)

参加者 115名, 一般演題(口演 38題)

第142回日本薬理学会近畿部会

部会長: 杉浦 麗子(近畿大学・薬)

2022年11月12日 近畿大学 東大阪キャンパス

参加者 208名, 特別講演 1, 一般演題(口演 50題)

第75回日本薬理学会西南部会

部会長: 齊藤 源頭(高知大学・医)

2022年10月1日 高知県立県民文化ホール

参加者約65名, ランチョンセミナー1, イブニングセミナー1, 一般演題(口演 20題, ポスター 10題)

(3) 市民公開講座の開催

- ・市民公開講座（第95回年会） 2022年3月6日 JR博多シティ10階会議室F（ハイブリッド開催）  
『フレイルの予防と治療—若返りの方策』  
演者：乾 明夫（鹿児島大学・院医歯），座長 宮田 篤郎（鹿児島大学・院医歯）  
『今、改めて見直す糖尿病の治療～食事・運動・薬物療法～』  
演者：大隈 俊明（九州大学・院医），座長 笹栗 俊之（九州大学・院医）  
『スポーツにおける薬物ドーピング』  
演者：鈴木 秀典（日本アンチ・ドーピング機構会長），座長 武田 泰生（鹿児島大学附属病院）
- ・市民公開講座（第75回西南部会） 2022年10月2日 高知県立県民文化ホール・グリーンホール  
『くすりで治る？夫婦で立ち向かう前立腺の病気』  
演者：清水 信貴（高知大学医学部附属病院），井上 啓二（高知大学・医），
- ・市民公開講座（第96回年会） 2022年11月29日 横浜市社会福祉センター4Fホール  
『塩とカラダの新常識～生命の進化から病気まで～』 演者：西山 成（香川大学・医）  
『くすりと上手につきあう方法～薬を飲むと副作用で損をするか？～』  
演者：松本 直樹（聖マリアンナ医科大・薬）

(4) 次世代薬理学セミナーの開催

- ・次世代薬理学セミナー2022 in 札幌（第73回北部会開催時ハイブリッド開催）2022年9月18日  
『次世代神経薬理学の最前線』

(5) 看護薬理学カンファレンスの開催

- ・看護薬理学カンファレンス2022 in 福岡（第95回年会開催時Web開催&オンデマンド配信），2022年3月6日  
大会長：上原 孝（岡山大学・薬）
- ・看護薬理学カンファレンス2022 in 高知（第75回西南部会開催時ハイブリッド開催），2022年10月1日  
大会長：西山 成（香川大学・医）
- ・看護薬理学カンファレンス2022 in 横浜（第96回年会開催時Web開催&オンデマンド配信），2022年11月20日  
大会長：赤羽 悟美（東邦大学・医）

(6) 他学会等との共催学術集会の開催 別表を参照

(7) 内外の関連学術団体との連携及び協力

- ・第95回年会中の3月9日にASPET講師交換プログラムとしてDr. Katerina Akassoglou (Gladstone Institutes/UCSF) を招聘し、JPS-ASPET Lecture（オンライン講演）を開催した。
- ・第96回年会中の12月3日にASCEPT講師交換プログラムとしてDr. Karen Gregory (Monash University) を招聘し、ASCEPT Lecture2022（オンライン講演）を開催した。
- ・同じく第96回年会中の12月2日に第24回日韓薬理学合同セミナー（Chairman：安西 尚彦 教授）を開催し、Min-Goo Lee 教授（Yonsei University），小泉 修一 教授（山梨大学・医）によるSpecial Lectureのほか、日本側，韓国側からそれぞれ6演題の講演，およびポスター発表が行われた。
- ・第31回日本医学会総会が募集を行っている分科会・加盟学会のポスター展示企画に，これまでの薬理学会の取り組みや学術活動を掲載したポスターを作成し，提出した。

2. 学会誌等刊行物の刊行（定款第4条第2号）

(1) Journal of Pharmacological Sciences の刊行

発行巻号	148 巻 1～4 号, 149 巻 1～4 号, 150 巻 1～4 号	掲載頁数	(篇数)
① Review		112 頁	( 15)
② Full Paper		723 頁	( 83)
③ Short Communication		46 頁	( 10)
合計		881 頁	(108)

(2) 日本薬理学雑誌（くすりとかからだ／ファーマコロジカ）の刊行

発行巻号（部数）157 巻 1 号（3,600 部）, 157 巻 2 号（3,600 部）, 157 巻 3 号（3,050 部）,  
157 巻 4 号（3,250 部）, 157 巻 5 号（3,500 部）, 157 巻 6 号（3,550 部）,

	掲載頁数	(篇数)
① 特集序文	17 頁	(17)
② 特集および総説	304 頁	(62)
③ 実験技術	16 頁	( 3)
④ 創薬シリーズ	32 頁	( 5)
⑤ 新薬紹介総説	67 頁	( 7)
⑥ キーワード解説	0 頁	( 0)
⑦ 最近の話題	14 頁	(13)
⑧ サイエンス/リレーエッセイ	1 頁	( 1)
⑨ 学会便り/研究室訪問	6 頁	( 6)
⑩ アゴラ	8 頁	( 4)
⑪ 広告	19 頁	
⑫ 綴込み, 目次等上記以外の頁	94 頁	
合計		578 頁 (118)

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第4条第3号）

(1) 第16回日本薬理学会江橋節郎賞授賞

今井 由美子（医薬基盤・健康・栄養研究所・プロジェクトリーダー）

(2) 第38回日本薬理学会学術奨励賞授賞（所属等の標記は授賞時）

北田 研人（香川大学 医学部 薬理学・助教）

『「全身性体液保持機構」の発見とその病態生理学的意義の解明』

清水 翔吾（高知大学 教育研究部医療学系基礎医学部門 薬理学・助教）

『排尿を促進する脳内物質の発見と排尿障害に対する新規薬物治療戦略の基盤構築』

西山 和宏（九州大学大学院 薬学研究院 生理学・講師）

『G タンパク質共役型受容体の機能性修飾に着目した薬理学的研究』

(3) 第27回 Journal of Pharmacological Sciences 優秀論文賞決定

Boron delivery for boron neutron capture therapy targeting a cancer-upregulated oligopeptide transporter.  
Junji Miyabe, Ryuichi Ohgaki, Keijiro Saito, Ling Wei, Lili Quan, Chunhuan Jin, Xingming Liu,  
Suguru Okuda, Shushi Nagamori, Hiroshi Ohki, Kazuo Yoshino, Hidenori Inohara, Yoshikatsu Kanai.  
Journal of Pharmacological Sciences, Volume 139, Issue 3, 2019, Pages 215-222.

Pretreatment with KGA-2727, a selective SGLT1 inhibitor, is protective against myocardial infarction-induced ventricular remodeling and heart failure in mice.

Yohei Sawa, Maki Saito, Nanae Ishida, Miho Ibi, Naoko Matsushita, Yoshihiro Morino, Eiichi Taira, Masamichi Hirose.

Journal of Pharmacological Sciences, Volume 142, Issue 1, 2020, Pages 16-25.

第28回 Journal of Pharmacological Sciences 優秀論文賞決定

Estrogen decline is a risk factor for paclitaxel-induced peripheral neuropathy: Clinical evidence supported by a preclinical study.

Tomoyoshi Miyamoto, Shiori Hiramoto, Ayano Kanto, Maho Tsubota, Masanori Fujitani, Hiroki Fukuyama, Shigekatsu Hatanaka, Fumiko Sekiguchi, Yuichi Koizumi, Atsufumi Kawabata.

Journal of Pharmacological Sciences, Volume 146, Issue 1, 2021, Pages 49-7.

(4) 第95回年会優秀発表賞 (五十音順・14名)

安藤 千紘 (京都大・院薬)

伊藤 淳平 (大阪医科薬科大・医・薬理学)

尾山 実砂 (北里大・薬・薬理)

加世田 将大 (熊本大・院薬・遺伝子機能応用)

齋木 琢郎 (新潟大・院医・腫瘍内科学)

永井 裕崇 (神戸大・院医・薬理)

中野 雅友樹 (横浜市立大・院医・分子薬理神経生物)

中平 毅一 (奈良県立医科大・医・薬理学)

深澤 和也 (岐阜薬科大・機能分子学大講座・薬理学)

藤井 拓人 (富山大・薬・薬物生理学)

益田 俊 (広島大・院医・神経薬理学)

森屋 広美 (東京理科大・薬)

楊 熙蒙 (富山大・和漢研・神経機能学)

吉田 一貴 (高崎健康福祉大・薬)

第96回年会優秀発表賞 (五十音順・14名)

岩鶴 果奈 (静岡県立大・薬・生体情報)

川岸 裕幸 (信州大・バイオメディカル研)

川邊 陸 (九州大・院薬・薬理)

吉川 慧 (広島大・院医・医歯薬学専攻 神経薬理学)

河野 玲奈 (東京大・院薬・薬品作用)

朱 秋楠 (金沢大・医薬保健研究域薬学系・薬物動態)

田沼 将人 (大阪大・院薬・神経薬理学分野)

全 麗麗 (国立精神・神経医療研究セ・神経研究所・神経薬理)

長島 卓也 (日本大・医・生体機能医学系薬理)

西 清人 (滋賀医科大・薬理)

西中 崇 (近畿大・医)

古田 晴香 (京都大・院薬・生体機能解析学)

山口 智和 (秋田大・院医・分子機能学・代謝機能学)

山下 怜矢 (金沢大・薬学系)

(5) 2022年度 JPS 優秀査読者賞

・Hitoshi Ando (Kanazawa University)

・Katsuya Hirano (Kagawa University)

4. 薬理学に関する研究及び調査 (定款第4条第4号)

- (1) 第96回年会の事前参加登録者に一斉メールを配信し、参加者アンケートを行った。回収した参加者層のデータや参加目的、薬理学会の年会に対する様々な要望を分析し、今後の年会の活性化に生かしていく。

5. 内外の関連学術団体との連携及び協力 (定款第4条第5号)

- (1) 学術集会の共催および連携 上記1.の(6)参照

(2) 学術集会の協賛・後援 (令和4年総会資料掲載以降令和5年総会の前日まで)

後 援

---

1)	「子どもの薬を創る会」第2回セミナー	(オンライン開催)	令和4年3月30日
2)	日本ケミカルバイオロジー学会 第16回年会		5月30～6月1日
3)	第12回アジア/オセアニア国際老年学会議 (IAGG-AOR2023)		6月12日～15日
4)	第6回日本臨床薬理学会 関東甲信越地方会	(オンライン開催)	6月25日
5)	第6回日本臨床薬理学会中国・四国地方会	(オンライン開催)	7月2日
6)	第6回黒潮カンファレンス合同学会	(オンライン開催)	7月2日
7)	「子どもの薬を創る会」第3回セミナー	(オンライン開催)	7月14日
8)	第6回日本臨床薬理学会 九州・沖縄地方会		7月30日
9)	第27回日本病態プロテアーゼ学会学術集会		8月19日, 20日
10)	生体機能と創薬シンポジウム2022		8月25日, 26日
11)	次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム2022		8月27日
12)	第71回脳の医学・生物学研究会		8月27日
13)	第6回感覚フロントピア研究シンポジウム「異分野融合が拓くミライの感覚」		10月8日
14)	「子どもの薬を創る会」第4回セミナー	(オンライン開催)	10月13日
15)	創薬薬理フォーラム第30回シンポジウム		10月13日, 14日
16)	第15回VIP/PACAP 関連ペプチド国際シンポジウム		10月30日～11月2日
17)	日本薬物動態学会第37回年会		11月7日～10日
18)	日本動物実験代替法学会第35回大会		11月18日～20日
19)	Dementia Therapeutics and Cognitive Rehabilitation		11月21日～23日
20)	第32回神経行動薬理若手研究者の集い		11月29日
21)	「子どもの薬を創る会」第5回セミナー	(オンライン開催)	12月26日
22)	公開シンポジウム「新興・再興感染症の克服に挑む ～COVID-19 との闘いを経て～」		令和5年1月13日
23)	第32回日本循環薬理学会		1月27日

協 賛

---

1)	第29回HAB研究機構学術年会		令和4年5月19日～21日
2)	第24回活性アミンに関するワークショップ		8月27日

6. 会議等の開催状況（令和4年総会資料掲載以降令和5年総会前日まで）

総 会	令和4年度 通常総会	令和4年3月7日	(福岡)
	臨時総会	11月12日	(大阪)
学術評議員会	令和4年度	令和4年3月7日	(東京)
	臨時学術評議員会	11月12日	(大阪)
理 事 会	令和4年度 第3回	令和4年3月8日	(福岡)
	第4回	4月23日	(Zoom ミーティング)
	第5回	7月23日	(東京)
	第6回	11月29日	(横浜)
総務委員会	令和4年度 第1回	令和4年5月16日	(Zoom ミーティング)
	第2回	11月18日	( 〃 )
財務委員会	令和4年度 第1回	令和4年3月1日	(Zoom ミーティング)
	第2回	11月11日	( 〃 )
	令和5年度 第1回	令和5年3月17日	( 〃 )
	財務ワーキング	11月9日	( 〃 )
	会計監査 監事監査 持ち回り開催	令和5年1月6日, 2月21, 24日 3月6日	(東京) (東京&Zoom)
編集委員会	令和4年度 第1回	令和4年3月8日	(福岡)
	第2回	12月1日	(横浜)
研究推進委員会	令和4年度 第2回	令和4年6月20日	(Zoom ミーティング)
	第3回	10月19日	( 〃 )
	第4回	12月26日～令和5年1月12日	(メール会議)
	令和4年度 第1回	令和4年3月8日	(福岡)
広報委員会	第2回	5月27日	(Zoom ミーティング)
	第3回	12月1日	(横浜)
	第2回	令和4年9月13日	(Zoom ミーティング)
企画教育委員会	第3回	10月27日～31日	(メール審議)
	第4回	11月30日	(横浜)
	令和5年度 第1回	令和5年1月24日	(Zoom ミーティング)
	次世代の会	令和4年度 第1回	3月8日
賞等選考委員会	令和4年度 第1回	令和4年9月29日	(Zoom ミーティング)
	年会学術企画委員会	令和4年度 第2回	令和4年4月7日
江橋賞選考委員会	第3回	8月8日	( 〃 )
	令和5年度 第1回	令和5年1月6日	( 〃 )
	令和4年度 第1回	令和4年10月20日	( 〃 )
国際対応委員会	令和4年度 第1回	令和4年3月9日	(福岡)
	第2回	6月25日	(Zoom ミーティング)
将来構想委員会	令和4年度 第1回	令和4年5月31日	(Zoom ミーティング)
	第2回	8月2日	( 〃 )
	第3回	9月28日	( 〃 )
	第4回	12月20日	( 〃 )
DX推進委員会	令和5年度 第1回	2月28日	( 〃 )
	令和4年度 第1回	令和4年8月2日	(Zoom ミーティング)
	第2回	12月27日～令和5年1月5日	(メール会議)
百周年記念事業準備委員会	令和4年度 第1回	令和4年3月7日	(福岡)
	第2回	11月8日	(Zoom ミーティング)
	令和5年度 第1回	3月6日	( 〃 )
基金運用委員会	令和4年度 第1回	令和4年8月1日	(Zoom ミーティング)

7. 会員状況（令和4年12月31日現在）

会員数および異動状況（下段は前年度との差）

代 議 員 (正会員に含む)	名誉会員	永年会員	正 会 員		総 数
			学術評議員	一般会員	
139	131	120	1,177	2,377	3,805
+3	+6	+2	-28	-112	-132

新入会者数：335名，退会者数：466名（逝去者，会費未納除籍者含む）

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。